

パートナーシップ委員会主催 分科会

# 保全としての放流

**日時** 2009年9月26日(土) 午前9時30分～12時

**場所** 埼玉会館 3F(けやき)

**参加費** 無料

近年、種の保全や環境教育を目的として魚などの放流が実施されていますが、効果が上がらないばかりか、場合によっては周辺の生態系に害を及ぼしている例すら見うけられます。

こうした現状のなか、例えば魚類に関しては、日本魚類学会が「放流ガイドライン2005」を策定しました。

本分科会では、魚類等の放流に際して「何が良くて何がいけないのか」を、研究者がいくつかの事例を交えながら解説し、放流における問題点を市民・行政・研究者間で共有したいと思っています。

自然環境保全や放流事業に取り組んでおられる方々の積極的なご参加を期待しています。

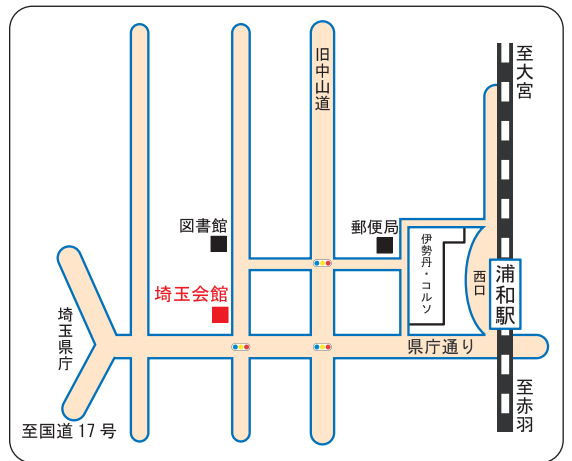


ムサシトミヨ 金澤光氏撮影

## プログラム

9:30- 9:40	趣旨説明 ----- 森 誠一 (岐阜経大)
9:40-10:00	遺伝学・生態学的背景、 事例とガイドライン説明 ----- 渡辺勝敏 (京大)
10:00-10:20	外来種の類型と生態的影響の整理 ----- 谷口義則 (名城大)
10:20-10:40	ミヤコタナゴ繁殖補助の事例 ----- 酒井忠幸 (栃木県水試)
10:40-10:50	休憩
10:50-11:10	落合川での活動、外来種と希少種 ----- 菅谷輝美 (新河岸川水系水環境連絡会)
11:10-11:30	ムサシトミヨの現状と再導入に向けて ----- 金澤 光 (埼玉県)
11:30-12:00	会場との質疑応答

### 会場案内図



### 埼玉会館

埼玉県さいたま市浦和区高砂 3-1-4  
 ※JR 宇都宮線・高崎線・京浜東北線  
 浦和駅下車 徒歩5分  
 電話：048-829-2471 (代表)

### お問い合わせ先

## 応用生態工学会 事務局

〒102-0083 東京都千代田区麹町 4-7-5  
 麹町ロイヤルビル  
 電話：03-5216-8401 FAX：03-5216-8520  
 E-mail：eces-manager@ecesj.com